

～タブレット活用～(前編) (株)ロジック 可知匡彦

【はじめに】

最近、街中でスマートフォンやタブレットが多く見受けられるようになりました。パソコンの利用範囲が限られていることに不満を持つユーザーは、パソコンをやめてタブレットに買い替えているようです。

多くのユーザーは高機能のパソコンは必要なく、インターネット閲覧とメール送受信ができれば、機能的にほとんど満足しているのです。一度使い慣れると、起動に時間が掛かるパソコンの電源を入れなくなるわけです。

今回から2回に渡って、今後更に広がっていくであろうと考えられるタブレットについて、お話ししたいと思います。

【急速に成長したタブレット市場】

今話題となっているタブレットですが、2年前のiPadの発売がきっかけでした。

まだ多くの企業が様子を見ている中で、個人ユーザーにはパソコンとあまり値段が変わらないにも関わらず爆発的に広まりました。出荷台数の第1四半期比較でも2011年と2013年で約1.8倍に増加しています。その後、それに追従するように、企業でも業務に使ってみようという動きに変わってきた訳です。

ところが、利便性や拡張性などの前向きな将来像とは裏腹に、利用者であるユーザーが抱える問題点がいくつかあるのも確かです。

【スマートフォン／タブレットが必要か】

タブレットの操作が難しそうとか使いこなせないと思っている方は、ぜひ一度使ってみてください。3～4度の操作で使いたい「アプリ」が実行できるはずなんです。最近では幼稚園児の教育用、お年寄りに優しい操作を売りにした「アプリ」がたくさん出てきています。当社でもクルマ酔いトレーニングアプリ「よいトレ」(無料)を公開していますが、起動してから最初の説明書きを読んで一度使い方を理解すれば、その後は特別な操作は一切要りません。このように幅広い年齢層で簡単に扱えるような取り組みもなされているのです。

パソコンで実現出来なかったことが可能になることから、必要性は当然上がってくることでしょ。

【早すぎるバージョンアップ】

タブレットをパソコンと同じもののように考えて購入された方が、一番悩むのは更新の早さです。

現在のスマートフォンの更新時期は、契約の縛りがあり最低でも2年間保有となっていますが、この縛りよりも更に早いおおよそ1年間隔で新機種が各キャリアから発表されており、世界的にもこの流れになっているようです。OS(オペレーティングシステム:基本ソフト)のバージョンが新しくなる周期は更に早いタイミングで行われます。

その結果、せっかく購入したタブレットも2年もすれば「アプリ」が動作しなくなったり、不安定になることがあります。

パソコンのライフサイクルよりも周期が短いと言えますから、タブレットをパソコンと同じように4～5年で買い替えを検討されている方には注意が必要です。

【なにに使うか】

早めの買い替えを承知の上で購入されるのであれば、タブレットは自宅でのパソコンの代わりに使うには大変便利です。デスクトップパソコンは電源を



入れてから操作出来るようになるまでに、平均で5分はかかりますが、タブレットは一瞬で起動します。

片手で持てるサイズにも関わらず、調べものからメールでの連絡、カメラやマイクによってテレビ電話も可能です。そして、写真を撮って編集を行ったり、年賀状を作って印刷まで出来るのです。21世紀のIT大発明(情報革命)と言ってもいいほど便利です。

それでは、ビジネスシーンにおける用途と活用方法についてですが、企業の場合はコストダウンや売上向上などのメリットがなければお奨めしません。すでにパソコンを導入されている事業所がほとんどですが、パソコンで事が足りているにも関わらず、それに増してタブレット導入となると、それなりに理由が必要でしょう。

最近では仕事を社外でこなす場面が多くなっています。例えば

- ・社長をはじめ役員が移動中や自宅であっても決済や報告の確認をする
- ・営業が効率よく活動する為に移動中でも状況報告や日報などを提出する
- ・見積書や受発注および在庫照会を客先で処理する
- ・ルートセールスやドライバーなどは居場所を地図で管理者に知らせる

など、公衆Wi-Fiや電話回線などを使ってインターネットの繋がるエリアであれば、どんな所からでも業務が出来ます。また、企業コンプライアンスの向上と言う観点からも、高度なセキュリティ保持がなされていればタブレット導入は有益となることでしょ。

【どれが良いか】

現在、日本で正規購入できるものは、種類別に大きく3つあります。

1つ目はApple社のiPadで、日本では一番売れているタブレットです。

2つ目はGoogle社のアンドロイドOSを使うタブレットです。

3つ目はMicrosoft社のWindowsを使うタブレットです。これには2種類があり、両方とも良く似ていますが、一方はスマートフォン向けのOSで、もう片方はパソコンと同じWindowsですので、業務利用となれば後者をお勧めします。



【今後の可能性】

ここまで急速に発展してきたタブレット市場ですが、今後は更に高機能となり進化していくと共に、パソコンに変わって、操作の簡単なタブレットを誰でも持つようになると予測しています。インターネットが今や日常生活に無くてはならない時代になって来ているように、タブレットも必要不可欠な存在になることが想像できます。タブレットはスマートフォンやテレビ、そして家電のコントロールに至るまでシームレスに繋がってくると思います。

ユーザーは自分好みのタブレットを選択できるようになり、「アプリ」によって様々な使い分けが出来るようになってくることでしょ。



株式会社ロジック

浜松市中区下池川町18-24

TEL.053-482-8380

FAX.053-482-8381

http://logic-soft.jp

システムハウス
Logic

◀執筆して頂いた 可知匡彦さん